

M R I 脳 検 査

3
テスラMRI、ダブルチェック、
メディカルスキャンニングの脳検査は他とは違うんです。

たしかな検査、たしかな結果

MEDICAL SCANNING

メディカルスキャンニング

3* テ ス ラ の M R I で 脳 検 査 を 。



すでに受診されている方も多い脳検査。

脳の病気は、症状が現れないまま進行し、突然発症すると一瞬にして人の命を奪ったり、言語障害などの重い後遺症を残すことも少なくない、こわい病気です。

メディカルスキニングでは、3テスラ*の最新のMRI機器を駆使した、たしかな検査をご提供します。

毎日読影をしている専門医師が、常にダブルチェックを行い、小さな危険因子でも見逃しません。

万が一疾患が見つかった場合、その時点で治療施設を選ぶこともメディカルスキニングの脳検査なら可能です。

最適な治療施設のご紹介も致しております。

自分のからだを、自分の人生を想うなら、ぜひ、MRI脳検査を。

*3テスラのMRI機器があるクリニックについてはお問い合わせください。

3テスラMRI機器*で行う、 5種類の検査

T1

脳梗塞があった際の、新旧の判断などに使用します。

T2

MRIの基本的な撮像方法による検査です。

安価な脳ドックではT2のみを実施している施設もあります。

FLAIR

過去から現在までのおおよその病変を知るために使用します。

この検査だけを実施して脳ドックとしている施設もあります。

DWI

細胞内の水分子の動きを画像化し、脳梗塞や感染症などを知るために使用します。

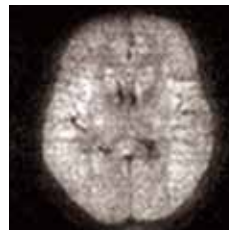
MRA

血管を撮像する方法で、脳動脈の狭窄や閉塞動脈リゅうなどを発見できます。

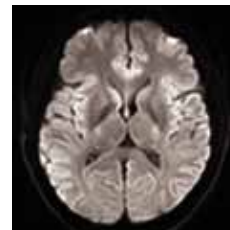
メディカルスキャンニングでは、

造影剤を使用しない最新のMRI機器の技術を駆使し、
5種類のシークエンスで、よりたしかな検査・診断を行います。

MRIには性能の違いがあるって知っていましたか？



1テスラMRIで撮影した画像



3テスラMRIで撮影した画像

たとえばデジタルカメラ。最新の画質であれば小さい点でもとらえることができます。MRIにも装置によって大きな価格差・性能差があります。メディカルスキャンニングでは、最新の3テスラMRIを導入し、受診者に負担の少ない短時間検査を実施しています。毎月1.5万件以上の検査と診断依頼を主要な大学病院や基幹病院等から受けている実績が、信頼できるクオリティーをお約束します。

- 専門の複数の医師による全件ダブルチェック。
- 将来引っ越しをしても、最寄りのメディカルスキャンニングで過去画像を参照した画像診断が可能です。
- 圧倒的に多い症例数が、検査技術の高さを保証します。
- 高性能MRIを用いるので、短時間検査が可能です。
- 閉所が苦手な方も比較的受診しやすいMRIもあります。(予約時にベリオまたはアバントをご指定ください。)
- 万が一のときも安心。最適な治療施設をご紹介します。

*3テスラのMRI機器があるクリニックについてはお問い合わせください。

突然死、後遺症、 脳卒中はこわい病気です。



がん、心臓病につづき、日本人の死因の第3位は脳卒中です。
年間13万人^{*}の方が脳卒中で命を落としています。
他人事ではなく、誰もが気をつけるべき病気です。

*厚生労働省：平成17年人口動態統計より

突然やってきて、ばたりと倒れる。それが脳卒中です。

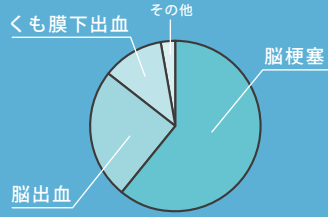
脳卒中は、脳の血管が破れたり、つまったりすることによって、その先の細胞まで栄養が行き届かず、細胞が死んでしまう病気です。たとえ命が助かったとしても、多くの場合、言語障害や片麻痺で歩行ができなくなるなどの後遺症が残り、介護が必要となり高額な医療費がかかります。本人だけでなく、大切な家族への負担が大きい。それが脳卒中なのです。

脳卒中	出血性	脳出血
		くも膜下出血
	虚血性	脳梗塞

脳卒中には「出血性」と「虚血性」の二つがあります。

出血性のものには脳出血（脳の中の出血）と、くも膜下出血（脳の表面を覆っている薄い膜の下に出血）があります。虚血性のものには脳梗塞（血管がつまって脳に栄養が行き届かなくなる）があります。

脳卒中のうち60%は脳梗塞。
しかし、脳梗塞は、
予防できる病気になりました。



	男性	女性	合計
脳梗塞	36,697	41,986	78,683
脳出血	17,643	14,417	32,060
くも膜下出血	5,543	9,194	14,737
脳卒中	61,547	67,508	129,055

厚生労働省：性別にみた主な死因別死亡数・粗死亡率(人口10万対)(平成16年)

大切なのは未然に防ぐこと。
発症してから後遺症が残ると、
未病を見つけて治療し、後遺症が残らないのは天と地の差です。

「未病」とは・・・病気と健康との間

発症を未然に防ぐために。

これまでは、脳梗塞は突然死、重い後遺症、厳しいリハビリなど、取り返しのつかない悲惨な病気のように思われてきました。しかし現在では医療の発達、検査機器の発達により、未然に防ぐことが可能となったのです。これまでのように脳梗塞になってから現代医療を施すのでは後遺症が残る可能性が非常に高いということは事実です。めまい、半身の麻痺やしびれ、ものが二重に見える、ちょっとした間言葉が出なくなったりといった前触れが先に起きていることもあります。脳の血管が一時的につまって起こるもので、気づかないことも少なくありません。気づかずにそのままの状態にしておくと、本格的な発作が起き、危険な状態になる可能性があります。メディカルスキニングでは3テスラ^{*}のMRIで、脳梗塞の原因の血管の狭窄(血管が細くなること)や、くも膜下出血の原因である動脈りゅうの検査をします。まだ症状の現れない危険因子を発見し、発症を未然に防ぐお手伝いをします。

厚生労働省「脳卒中ホームページ」監修(財)循環器病研究振興財団
内山真一郎(2006)「これだけは知っておきたい 脳梗塞の予防と治療」(実業之日本社)
金澤武道(2009)「新脳梗塞発見法 脳梗塞はなる前に治せる!」(健康ジャーナル社)

^{*}3テスラのMRI機器があるクリニックについてはお問い合わせください。

大切なのは定期的な検診と早期発見。

脳卒中は生活習慣や生活習慣病とかかわりの深い病気です。脳卒中を発症する人の数は一握りですが、その後ろにはいつ脳卒中にかかってもおかしくない方がたくさんいます。閉塞になる前の狭窄などの危険因子を早期に発見することで、外科手術ではなく、肉体的に負担のない内科的な治療を行えます。

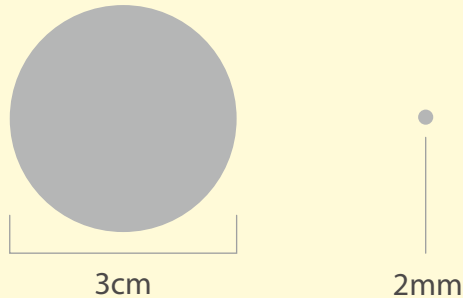
定期的な検診で、早期発見を心がけてください。

特にリスクの高い方は……

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 高血圧である | <input type="checkbox"/> 家族や親戚に、脳卒中にかかった人がいる |
| <input type="checkbox"/> 高脂血症である | <input type="checkbox"/> ゆっくり休めない |
| <input type="checkbox"/> 糖尿病である | <input type="checkbox"/> 完璧主義である |
| <input type="checkbox"/> 脈が乱れることがある | <input type="checkbox"/> 味付けの濃いものが好き |
| <input type="checkbox"/> 太っている | <input type="checkbox"/> 脂っこいものが好き |
| <input type="checkbox"/> お酒をたくさん飲む | <input type="checkbox"/> 味見をせずに調味料をかけることが多い |
| <input type="checkbox"/> たばこを吸う | <input type="checkbox"/> 果物を食べるのが少ない |
| <input type="checkbox"/> 運動不足である | <input type="checkbox"/> 野菜をあまり食べない |
| <input type="checkbox"/> ストレスがたまっている | |

症状のない段階で

脳腫瘍が見つかる人が増えています。



腫瘍の大きさが3cm程度になると、
頭蓋骨の中で脳を圧迫し、症状が現れてきます。
MRIの検査では2~3mmの腫瘍の発見が可能です。

脳腫瘍は、原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍の2つに大きく分類できます。
原発性脳腫瘍は1年間に約1万人が発症。転移性脳腫瘍はその何倍にもなります。
特に肺がん、大腸がん、乳がんからの転移が多くみられます。

より確実な検査をするために。

頸動脈MRA検査との併用

頸部には心臓から脳へ栄養や、酸素を送る太い血管(頸動脈)があります。脳検査と頸動脈MRAの検査を併用して行うことで、よりたしかな診断ができます。とくに頭痛や、めまいなどの症状がある方は、ぜひ、頸動脈MRAの検査を併用してください。検査は脳検査と一緒に行うので、数分で終了します。

+ 心臓検査

心原性脳塞栓症による脳梗塞は、心臓の働きに問題があります。心臓検査との併用で、「未病」の脳梗塞を見つけることがより可能になります。

+ 全身血管検査

脳に酸素を運ぶために、血液は全身の血管を通ります。全身血管検査を併用することで、より危険因子の発見を確実にします。

メディカルスキャニングならではの

「たしかさ」。

Quality

最新鋭の機器、専門の技師による検査

Exact

検査結果を専門医が的確に診断

Follow

万一の際は専門病院をご紹介

メディカルスキャニングは、より入念な健康チェックを受けたい方や専門的な検査を受けたい方のための、最先端のMRI、CTを使った画像検査・診断専門のクリニック及びネットワークです。主要な大学病院、基幹病院から検査・診断を受けている実績と信頼性による安心感と、世界的な学会*でも演題に採用される高水準の環境のもと医療をご提供します。迅速で質の高い検査・診断により、受診者の視点を大切にしたい最適な医療の普及に貢献しています。

*RSNA(北米放射線学会)



ご予約から結果が出るまで

- 1** **ご予約** 完全予約制です。当院の受付に直接お越しいただくか、お電話にてご予約ください。地図や検査時の注意事項を記載した「検査のご案内」を送付します。
- 2** **検査** リラックス状態で検査を受けていただくために、ご予約時間の10分前にご来院ください。完全予約制のため、遅れる場合は事前にご連絡ください。当日までに「検査のご案内」をご覧ください。また、健康保険証をご持参ください。
- 3** **結果** 専門医がダブルチェックで画像診断し、後日、報告書と検査画像の入ったCD-Rを送付（または取置き）します。また、万一の際は、医療連携数1.5万件/月のネットワークをいかし、ケースに応じて専門病院をご紹介いたします。



お問合せ・ご予約(共通)

03-5778-2905

MEDICAL SCANNING
メディカルスキャンニング
www.medicalscanning.net